

◆市長ごあいさつ◆

～ずっとここに暮らしたい!みんなで創ろう きらめき湖南～の実現に向けて

湖南市は、南端に阿星山系、北端に岩根山を望む丘陵地で、まちの中央には清流野洲川が流れ、豊かな自然に恵まれています。古くは伊勢参宮街道、江戸時代には東海道五十三次の51番目の宿場「石部宿」、また近代では国道1号や名神高速道路などたくさんの方々が往来し、文化や産業が栄えてまいりました。高度成長期にはこの利便性を活かし工業団地や住宅開発が進み、まちは大きく発展してまいりました。

また本市は、全国に先駆けて取り組む乳幼児期から就労までを一貫して支援を行う「発達支援システム」や、「交流から理解へ」「理解から協働へ」「協働から創造へ」をめざす多文化共生のまち、内閣府から「SDGs未来都市・環境省から「脱炭素先行地域」に選定されるなどさまざまな分野にも取り組み続けています。

これからも湖南市は未来を見つめ、誰一人取り残さない、笑顔あふれるまちとなるよう歩み続けます。



湖南市長
松浦 加代子



◆市民憲章◆

わたしたちは、悠久の野洲川の流に沿った美しい郷土を愛し、先人が築いてきた文化や歴史に感謝して、活気と希望に満ちた、ゆたかで創造的なまちをつくるために、この憲章を定めます。

- 一、美しい水と緑を大切に、自然と調和したまちをつくります。
- 一、たがいの人権を認めあい、思いやりのあるまちをつくります。
- 一、子どもが健やかに育ち、障がい者や老人をはじめ、だれもが安心して暮らせるまちをつくります。
- 一、ゆたかな歴史を重んじ、香り高い文化のまちをつくります。
- 一、社会の規律を守り、安全で住みよいまちをつくります。

(平成17年11月20日制定)

◆湖南市歌◆

「のびゆく湖南市」

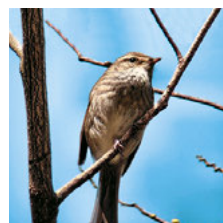


原作詞 井上久雄
補作詞 野呂昶 平賀胤壽 皆越美紀子
作・編曲 岩井直博

- 水清らかな 野洲川の
瀬音やさしく うたっている
鳴くウグイスの 声さやか
歴史と文化の 咲きにおう
われらの湖南市 きらめくまち
- 四季^{あざ}鮮やかな 山すその
田園ゆたかに ^{みの}稔っている
うつくし松の 風涼し
湖南三山 ^{あお}仰ぎ見る
われらの湖南市 希望のまち
- ひかり波打つ 海道の^{かいどう}
先端ひらき 目ざましい
サツキの花の 色ゆたか
文化と産業 調和する
われらの湖南市 のびゆくまち

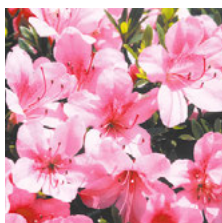
(平成21年10月4日制定)

◆市のシンボル◆



市の鳥
ウグイス

美しい声で、希望の春を告げる鳥。ウグイスの声を身近に感じられる自然環境を残していきたい。



市の花
サツキ

種類も多く、創造性につながるイメージがある。また、広く市民に親しまれてきた花でもある。



市の木
ウツクシマツ

国の天然記念物となっている「平松のウツクシマツ自生地」に生育する湖南市特有の松であり、独自性を表す。



ACCESS

車で

東京	新東名高速道路 約5時間30分	竜王IC	約20分	湖南市
名古屋	名神高速道路 約1時間30分			
大阪	名神高速道路 約1時間15分	栗東・湖南IC	約20分	

電車で

東京	東海道新幹線 約2時間10分	京都駅	JR新快速 約20分	草津駅	JR草津線 約10分	湖南市
名古屋	東海道新幹線 約35分					
大阪	JR新快速 約55分					



湖南市魅力発信拠点施設「HAT」



湖南市役所(西庁舎)



市民学習交流センター



湖南市役所(東庁舎)



ふれあいの館